

太陽光発電を活用した酪農経営による生乳のブランド化



牧場に設置された太陽光パネル



発電された電気は搾乳機、換気装置などに使用

<概要>

- 事業実施主体：浜中町農業協同組合（JA浜中町）
（北海道^{あつけしぐん}厚岸郡浜中町）
- 発電設備：太陽光発電
発電出力 計1,050kW
発電電力量 約121万kWh/年
- 建設費：7億2,500万円
- 運転開始時期：平成22年5月

<特徴>

- クリーンエネルギーを活用した酪農業の先駆けとなるべく、100戸余りの酪農家が太陽光発電設備を設置。
- 発電した電気は畜舎内で使用し、酪農家1戸当たりの電力経費を年間20万円程度削減。また、余剰分は売電。
- 太陽光を活用したエネルギーの地産地消とCO2の排出削減を実現。
- 太陽光発電を活用して生産した生乳を「エコ牛乳」としてアピール。生乳は高級アイスクリームの原材料等として供給されており、当該地域のブランドイメージ向上に寄与。